

第1次佐久穂町行財政改革大綱策定に伴う住民説明会 会議録

日時	2014. 11. 7		時間	19 : 00-21 : 00			
場所	大日向3区多目的研修センター		参加者数 ; 32人		説明者 ; 岡部豊一、浅井弘幸		
参加職員	挨拶	大工原副町長	司会	小宮山昇平		書記	岩崎恒春、井出菜見
	相馬哲雄、平岡豊彦、井出豊						
その他参加者	町職員2人(市川健、山口晃) 議会関係者2人(倉澤陽一、高見澤春野)						

記事 (質問、意見、要望、対応状況など)

区分	発言者	質問・意見・要望等	回答
意見	男性	活動計画案の書き方についてですが、全町となっているものもありますが、ピントがずれていて誰もやらないと読み取れる。そして真剣に取り組むのであれば担当課、係名ではなく個人名を示した方が良いかと思えます。活動計画が実行されたならば実績を上司がその担当者を評価してください。実際には案を考え協力を要請していくのは個人だと思えますので、個人名を入れた方が良いかと思えます。	今後は様式につきましては、意見に沿って修正していくことを検討していきますので、よろしくお願ひします。
意見	男性	集中改革プランの基本方針の中で夢あるまちづくり（ふるさと重視、住んで良かった・・・）を掲げていて、これまでの成果について一定の評価は認めるが、結果的に、このような削減案になっている。町から転出した方から ”ふるさとは思い募れど足むかず、ふるさは日頃の宿になりけり” という句を詠み、町に対しての思いをつづった。特徴的な句です。町を離れた方はこういう実感を持っている。先程の説明を聞いていると、こういう実感を受けます。しかし地域住民にとって、金の面で分権していく、行政改革ですよ、これからの町をどうやっていくのか、肝心なところが理解できない。ただ5億円、財政が厳しい話が先立つだけで、将来どのような町を作っていくのか、例えば何を基盤に町づくりを、具体的な地域住民を含めて理解できるように説明が欲しい。5億円対策における「削減案」という言葉が強すぎるのではないか。協働関係をうちだしているのは良いが、地域の集落の実情を見ると、半分以上が70歳以上で高齢者が多く、対応できない実情が多い。共にやっていくという行政支援を町がしっかり考えていくことが重要だと思う。今まで行政改革等について、報告していきますよと言っているが、いっこうに住民に対して報告がされていない。コンクリート化されたものが住民におろされてくる。住民説明会が終わった段階で、どのような意見・提案がでたのか、公表すべきだと思う。	ご意見ありがとうございます

意見	男性	活動計画案が出来ていると思うが、その中で4億円の減額が達成できたのか、教えてもらいたい。	現在までは4億円を減らしたいという目標に対し、2.3億円で残り1.7億円です。この計画期間が平成26年度から32年度までであるので、その間で何とか目標に達したいと考えております。そのための議論のきっかけとして皆様にお集まりいただいているので、よろしくお願いします。
	男性	4億円の削減を達成できたら、そのシミュレーションを住民にお知らせしてもらいたい。	シミュレーションと言いますか、ホームページをご覧になれる方はご存じかもしれませんが、今回皆様にお知らせしている内容は、先ほどの大綱と、具体化した活動計画、さらにその中から削減に的を絞っている特別対策プランというものがあります。資料が大変厚いため皆様1人1人にお渡しできない状況なのですが、こちらを見ると具体化した数値目標が記載されており、積み上げた数字が2億3千万円です。先ほどご説明しましたが、これで終わりではなく、進捗管理をしていって、何がどうなったかを見ていく、平成32年度まで管理していくということですので、お願いします。
	男性	ホームページにのっているということでしょうか。	大綱案のパブリックコメントが本日までであるため、明日以降見れなくなってしまいます。土日中に再度ホームページへ掲載しますので、そちらをご覧くださいだけだと思います。見れない方におかれましては、郵送での対応も可能ですので、よろしくお願いします。

意見・質問	男性	<p>5億円が減るといふ話は、合併するH17年に分かっていましたよね。それが今になって後3～4ヶ月で減ってしまう時にこういった資料が出てくるのはどういうことでしょうか。5年も前からやっていたらもういい考えが出てくるかと思えます。それと全体を見てみると、全体の事業をぎゅうと縮小させて、何とかお金を減らそうと感じるのですが、我々企業の立場からすれば、まず無駄を省く・ぜい肉をとる、それでもだめなら従業員の給料を減らす。そういうところの考え方をした方がよい。全体の事業をやりながら減らすというのは無理だと思ふ。捨てるものは捨てる、スキー場について、毎年3千万円以上負担しているなんてものはすぐに捨てるべきだと思ふ。それと、協働というすばらしい言葉が出ていますが、消費税が8%から10%になり、どんどん個人の負担は高くなる中で、町は協働というカッコいい言葉で町民にも負担しなさいと、何か負担ばかりでだんだん住みづらい町になるなど感じます。町長さんは「住んで良かった」と言っていて立候補したと思ふますが、その辺も考えてやっていただきたいと思ふます。</p>	<p>今になってばたばたしているのはおかしいではないか、というご指摘の関係ですが、本日配布した大綱案の5ページをお開き下さい。合併直後の平成18年度において、国による三位一体改革で交付税が減額されたという状況を踏まえ、また町として自立していくという目標の中で自立計画を定めました。H18～22年度の取組の中でどれ位の削減効果があったかという、235,613千円です。その中で最も大きかったのは人件費の削減です。これらの取組を継続すれば良かったのですが、民主党権によるバラマキ政策にのっかってしまい、中断してしまいました。さらに、住民の皆様のニーズが増える中、事業の見直しをすることなく、お金をかけてきたということがあります。全ての方にまんべんなくサービスを提供することが今までできていましたが、日本国全体で税収が減っていく中で、国でも大胆なことをやってきています。我が町は交付税がなくなってしまうと息の根が止まってしまうほど、収入の半分を交付税に頼っている中で、今考えている以上に減らされる可能性があります。リーマンショック以降、景気が悪くなったために特別加算枠を増やしてきましたが、その枠を財務省はカットするという報道があります。私たちは合併自立ということがそもそもの目的でしたので、そこへ再度集中させようということです。協働というのは、役場がやっていることを全て皆さんにお任せすることではなく、高度成長期以降どちらかと言えば役場の方でリーダーシップというか主役になっていた部分がありますが、今後はやはり地方分権・地域分権ではないですが、そういう考えを取り入れながら、できる事とできない事を分けて、できない場合には、お互いに力を貸しましょう、お金を貸しましょう、ということです。結果的に今まで役場でもしっていたものが皆さんにくると負担が増えるかもしれませんが、決して丸投げするのではなく、町とともにがんばるという姿勢ですので、ご理解をお願いします。負担は増えるかと思ふますが、よろしくをお願いします。</p>
意見	女性	<p>ホームステイ事業の廃止という説明でしたが、私は逆により多くの国へホームステイをさせてほしいと考えています。何故ならば、日本人は1つの民族で1つの日本語で日本中どこ行ったって話は通じますが、世界にはばたいた時に日本語なんて何にもならないし、英語だって習って当たり前だと思ふます。より多くの生徒の方が学習できるという事でホームステイを廃止と説明したと思ふますが、私は逆だと思ふます。英語はより多くの方に学習してもらおうという事はもちろんの事、と同時にホームステイもより多くの生徒に行ってもらいたい。他の予算を削ってでも予算をとってもらいたいと思ふます。それから、その子どもたちが行った時には多額の補助金がかかりますが、その子どもたちが社会人になって羽ばたいた時に、ふるさと納税で返せる時があるならば、返せる方法も考えたらどうでしょうか。</p>	<p>(教育長) ご意見ありがとうございます。私たちがいろいろ考えたんですが、今まで佐久町時代から始めた事業ですが、行ける子が同じ学年の何分の1かの方で、恵まれた家庭といつてはあれですが、ごく一部の方しか行けない状況でした。ご案内のとおり来年から佐久穂町は、1つの小学校1つの中学校に統合させていただきます。お便り等でお知らせしていますが、小学校1年から35時間の英語の授業をスタートさせていただきます。9年間一貫した英語カリキュラムの中で児童・生徒の英語教育を充実させて、希望とすれば、卒業する時には自分のふるさとを英語でスピーチできるような願いをこめまして、来年から一貫した教育を始めます。そちらの方に教える先生を増やしたりとか、お金を使わせていただきたいので、できるだけ皆さんが公平に恩恵を受ける予算に振替させていただきます。苦汁の選択ではありますが、26年度をもって終了ということで決めました。</p>

意見	男性	<p>今教育長さん良い事を言ったと思いますが、私は40億か50億かかったかは知りませんが、大変素晴らしい学校が出来ましたので、これを町の宣伝として、例えば火曜と木曜あるいは火曜と金曜じゃ全て英語の日とし日本語は喋らない日にするような教育の方法で、日本中に宣伝すると、佐久穂町に行けばこういう学校があると、英語をやりたい人がいればそこに行けば良いとなると、人口が増え生徒も増えます。せっかく良い学校を作ったのだから、何か考えていったらどうでしょうか。</p>	<p>(教育長) 週1日15分ですが、一つの教室ごとに英語会話の日を設定するような事を先生方は考えています。</p>